

# 1 業務概要

---

## 1-1 業務目的

---

沖縄市では、平成 21 年度より国道 330 号胡屋十字路～コザ十字路区間沿線において、国道の拡幅に伴う沿道まちづくりについて検討をはじめ、「胡屋十字路～胡屋北交差点」地区（以下「本地区」という）においては、平成 25 年度より検討を進めてきた。

本地区については、沿道まちづくりの将来像や基本方針、官民それぞれが担うべき役割を示す推進体制や共有したい意識・行動を含めた基本姿勢、さらに段階的な沿道の実現イメージをまとめた沿道まちづくりビジョン（案）（以下、「ビジョン」という）を作成している。

ビジョンの基本方針においては、「【交通・回遊】KOZA からモビリティを変えていく」としており、マイカーから多様な移動手段へのシフトを促し、コザの回遊性向上を位置づけている。

一方、沖縄県においては、「沖縄県公共交通活性化推進協議会」を設置し、「那覇市・浦添市・宜野湾市・沖縄市・北中城村地域公共交通総合連携計画」において、県内路線バスの課題へ対応すべく、利用しやすく効率的で確実な走行性、シームレスな乗り継ぎを図り、バス網の再構築を推進するため、基幹バスシステムを導入し、沖縄市側の交通結節点整備に取り組む必要があると示されている。

また、国においては、交通混雑の緩和や物流の円滑化のため、バス・タクシー・トラック等の事業者専用の停留施設を道路付属物として新たに位置づける道路法改正や、交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインを作成した。

本業務ではビジョンに基づき、国や県、本市等における現状及び課題等を踏まえ、本地区に望ましい交通・回遊機能構想の検討を目的とする。

## 1-2 業務概要

---

①業務名：国道 330 号胡屋地区沿道まちづくり交通・回遊機能検討業務

②工期：令和 3 年 6 月 7 日から令和 4 年 2 月 28 日まで

③発注者：沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

④受注者：(株)中央建設コンサルタント

⑤業務項目：

- 1) 現状把握及び課題の整理
- 2) 事例調査及び現地視察
- 3) 交通・回遊性機能の検討
- 4) イメージパースの作成
- 5) 胡屋十字路周辺地区まちづくり検討ワーキングの開催

## 1-3 実施方針

---

### 1-3-1 業務の背景

- ・ 前頁を踏まえ、「沖縄市のまちづくりと一体となった交通結節点の在り方」について、沖縄県公共交通活性化推進協議会や沖縄総合事務局等と連携し、交通結節点の実現に向けた調査検討を行う。
- ・ 調査検討にあたっては、令和2年の道路法等の一部を改正する法律を踏まえ、「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン」(R3.4 国交省)を参考にしながら、対象範囲や、地域のポテンシャル・課題、整備方針、整備イメージ等の検討を行う。

#### (1) 現状把握及び課題の整理

- ・ 様々な計画及び取組について整理を行い、胡屋地区における現状及び課題の把握を行う。

#### (2) 事例調査及び現地視察

- ・ 国内外の交通結節点事例について、交通結節点を中心としたまちづくりの事例を整理し、国内事例について視察を行う。

#### (3) 交通・回遊機能の検討

- ・ 「(1) 現状把握及び課題の整理」、「(2) 事例調査及び現地視察」での整理を踏まえ、胡屋地区に望ましい交通結節点の機能及び規模、配置、周辺モビリティ、必要となるその他機能、波及効果等について検討・整理を行う。

#### (4) イメージパースの作成

- ・ 作成するイメージパースについて、発注者と視点場のイメージを共有しながら効率良く作成を行う。

#### (5) 胡屋十字路周辺地区まちづくり検討ワーキングの開催支援

- ・ 学識経験者、道路管理者、まちづくりに関わる事業者等、ワーキングを構成する委員案やワーキング開催時期・回数について整理し、ワーキングの開催を行う。

### 1-3-2 業務フロー

本業務では、以下の検討フローに従い、検討を行った上で、報告書を取りまとめた。

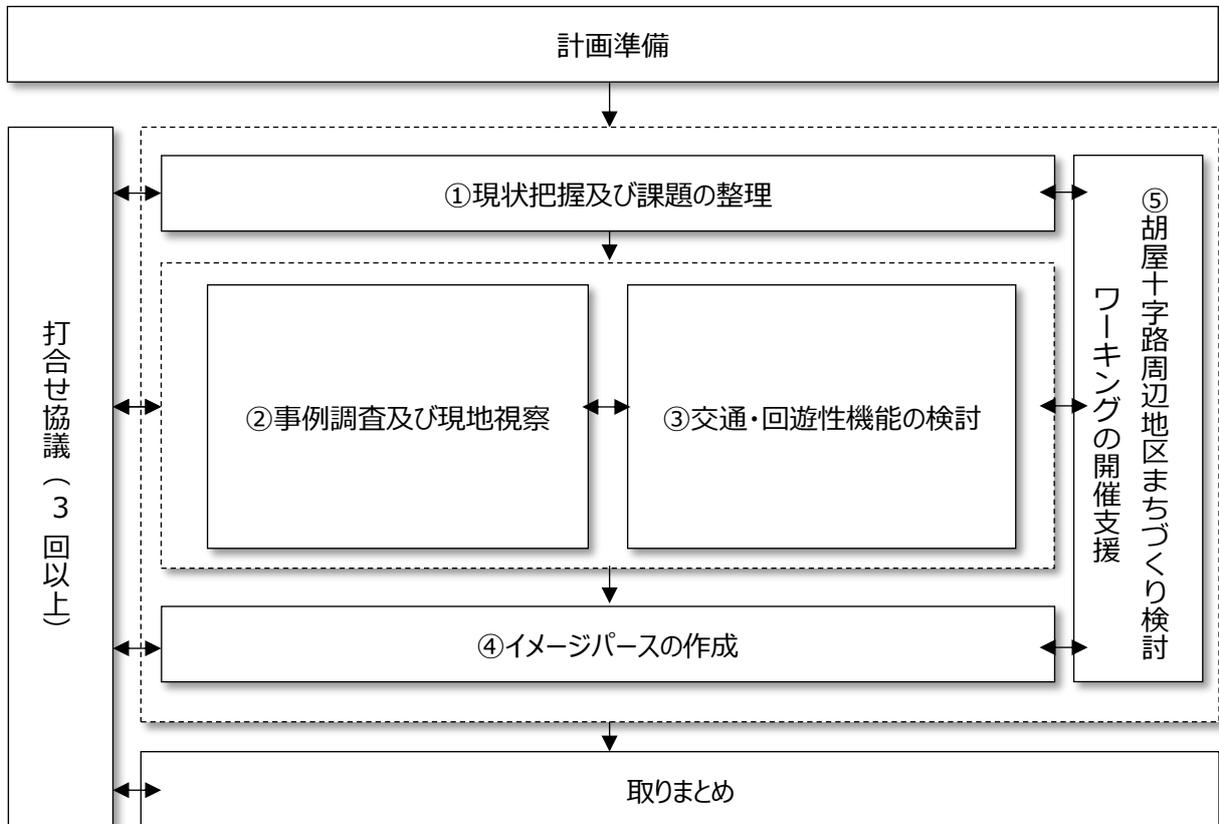


図 業務フロー